

岩ネット

4月19日（土） 日和田ゲレンデ

日差しの温かい穏やかな日となつて、日和田ゲレンデに到着すると、すでに多くのクライマーたちで賑わっていました。水谷講師らによって早くも数本のロープがセットされていて、私たちを迎えてくれました。新年度第1回は17名の参加者となり、去年の最高15名の記録を超えたとのこと。久しぶりに懐かしい仲間と会って、さあ頑張ろうと気合が入ります。

常連のベテランたちは難しいルートへと移り、私たち初心者には水谷講師からホールドのつかみ方や体重移動など基本を教わって、まずは男岩南面の優しいルートからトライです。1年ぶりの岩の感触・・・緊張で気が引き締まります。足の上にお尻を持ってきて体重を乗せてから立ち上がる・・・悲しいかな、しっかりしたガバがないと不安なのです。足が8割と教わったにもかかわらず、頭で理解しても体がついてゆかず、腕の力で登ろうとする典型ですね。

不安定なホールドでバラバラなムーブをしては立ち往生です。下方からはアドバイスが飛んできますが、その通りに登れないのが技量の無さ。ただ練習あるのみと痛感します。それでも2度トライして、次は「出稼ぎルート」（面白い名なので覚えました）左のカンテ沿いに移ります。やはり簡単にはクリアさせてくれません。

必死に登っているうちにロープが岩角に引っかかってしまい、いくらさばいてもびくとも動かず、見かねた水谷講師が手助けに登ってきてくれました。足のすぐ下に講師の頭が見えて、ここで私が落ちたら共に転落？と想像して必死に岩にしがみつき、講師はあくまでも冷静です。

岩ネット初参加で、岩は10何年ぶりという2人は楽しそうに登ってゆき、登山学校受講生は若さとスリムな体型を生かしてスルスルと軽快な足さばきで、あれよあれよと見守るうちに到達しました。

自分の練習は後回しにして私たちを確保してくれる方々など、初心者からベテランまで集って和気あいあいと練習できる岩ネットはとてもありがたいです。いつまで経っても初心者の域を抜け出せませんが、それはそれなりに楽しく学べて、次回も頑張ろうと思うのでした。

参加者17名／椋山岳会1・所沢ハイキングクラブ3・新座山の会6

わらび山の会1・三郷山の会4・彩の山友会1・登山学校受講生1

（新座山の会 杉江由美子）